

お詫びと訂正

オペナーシング 38 巻 2 号におきまして、下記の誤りがございました。

著者および読者の皆さまに謹んでお詫び申し上げますとともに、以下に訂正いたします。

該当箇所

「3. 器械出しで使用する器械

—自動縫合器・自動吻合器・エネルギーデバイス（電気メス、バイポーラ、超音波凝固切開装置、ベッセルシーリングシステム）・硬性鏡と軟性鏡」

p.26 図1

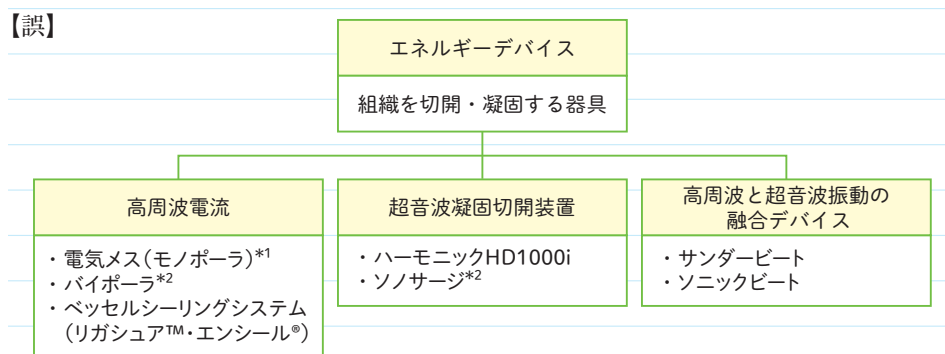


図1 エネルギーデバイスの分類（文献7を参考に作成）

*1：対極板が必要

*2：フットスイッチが必要（腹腔鏡鉗子にモノポーラコードを接続した場合は必要）

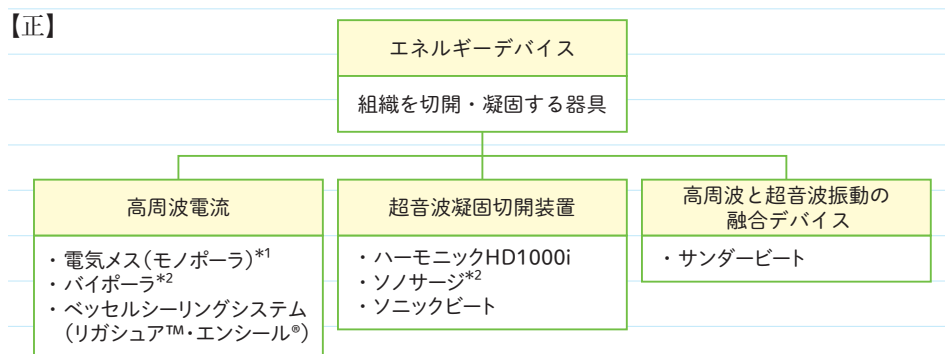


図1 エネルギーデバイスの分類（文献7を参考に作成）

*1：対極板が必要

*2：フットスイッチが必要（腹腔鏡鉗子にモノポーラコードを接続した場合は必要）